

第 42 回 全日本選抜少年野球 交流大会 感染症予防対策書

令和 2 年 7 月 6 日

一般社団法人 神奈川県少年野球交流協会
大会運営本部 理事 永山 衛

- 1、 体温測定
参加チーム全ての関係者（監督・コーチ・選手・父兄）の当日の体温測定を実施し運営本部に報告する、37, 5 度以上の発熱が確認された場合は大会会場への参加は出来ない。
- 2、 マスクの着用
大会会場に於いては全ての関係者のマスク着用を徹底する、**プレー中に於いてもプレー中以外のダグアウト内の選手・監督・コーチはマスク着用を徹底する。審判員及びランナーコーチもマスクの着用を徹底する。**
- 3、 密集・密接の回避
大会会場内に於いては密集・密接を避け常に 1 メートル以上の間隔を確保するダグアウト内に於いても感覚の確保を徹底する。
- 4、 消毒液の設置
硬式球場に於いてはエントランス及びダグアウトに消毒液ボトルを設置する、屋外球場（軟式球場・少年球場）に於いては本部席に設置する。
- 5、 入場制限
各グラウンドにて入場制限を徹底します、1 メートル以上の間隔確保困難の場合は各グラウンドに於いて入場制限を行います。
- 6、 握手及びハイタッチ等の禁止
選手・監督・コーチ間の握手及びハイタッチの禁止に加え試合開始前及び試合終了後の挨拶はホーム付近では行わずベンチ前にて行う。
- 7、 大声での応援及び会話を避ける
ベンチ内及び観覧席においても大声での応援そして会話も極力避ける。
- 8、 ダグアウトの待機制限
ダグアウトの待機人数は最小限とする、参加登録メンバー以外の選手の入場は認めない、監督・コーチ・スコアラーは全日本大会に限り 7 名とする。
- 9、 新型コロナ感染拡大対策 利用者ヘルスチェックリストの活用
ヘルスチェックリストを活用し参加全チーム健康状態を把握する。
- 10、 LINE コロナお知らせシステムの登録
大会参加関係者に「LINE コロナお知らせシステム」への登録を推奨する。